

エコアクション21 環境活動レポート ～あおい地球を「未来へ」つなぐために～ 2010年度 (期間：2010年4月1日～2011年3月31日)

「ふくしょうの森づくり」活動風景



発行年月日：2011年8月10日
事業所名：株式会社 福 商

目次

1. 組織の概要	
1-1. 会社概要	1 ページ
1-2. 経営理念・経営ビジョン	2 ページ
1-3. 事業領域	2 ページ
1-4. 組織図・エコアクション運営体制	3 ページ
2. これまでの環境活動	4 ページ
3. 環境理念・環境方針	5 ページ
4. 環境目標	6 ページ
5. 2010年活動計画	
5-1. 主な環境活動	6 ページ
5-2. 環境教育・地域社会貢献	7 ページ
6. 環境目標とその実績及び評価	
6-1. 環境目標とその実績	8 ページ
6-2. 実績の評価	9 ページ
6-3. 2011年度以降の新環境目標	10 ページ
6-4. 経年実績の推移（6年間）（総量・原単位・平均）	11 ページ
7. 2010年度活動計画の取組結果と評価	
7-1. 主な環境活動の取組結果と評価	12. 13 ページ
7-2. 環境教育・地域社会貢献	14 ページ
7-3. 取組の紹介	15 ページ
7-3-1. エコドライブ10のすすめ	15 ページ
7-3-2. 教育・訓練	15 ページ
7-3-3. エコドライブ講習会	16 ページ
7-3-4. ドライブレコーダーを用いて安全運転・エコドライブの指導	16 ページ
7-3-5. 掲示物、地域清掃、環境物品購入	17 ページ
7-3-6. その他、分別処理	17 ページ
7-4. 「ふくしょうの森づくり」活動報告	19 ページ
7-5. 2010年度活動計画	20 ページ
7-5-1. 主な環境活動計画	20 ページ
7-5-2. 環境・地域貢献活動	21 ページ
7-5-3. 環境教育・その他環境負荷低減活動	21 ページ
8. 環境関連法規等の順守状況の確認及び評価の結果並びに違反・訴訟の有無	
8-1. 環境関連法規等の順守状況の確認及び評価の結果	22 ページ
8-2. 環境関連法規等の違反・訴訟の有無	22 ページ
9. 代表者による全体評価と見直しの結果	22 ページ

1. 組織の概要

1-1. 会社概要



事業所名 株式会社福商（旧社名：株式会社福商運輸）
代表者氏名 代表取締役 内藤泰司

所在地 福岡県粕屋郡志免町別府北4-7-1

資本金 1000万円

環境管理責任者 常務取締役 河野純一
TEL 092-626-8888
FAX 092-626-8889
E-mail: info@fukushou.net
http://fukushou.net/



事業内容 家電製品・家具製品、精密機器の配送・設置
エアコン・アンテナ・防犯カメラ・太陽光発電・エコ
キュート等の配送・据付工事

事業の沿革

平成4年11月	大野城市にて軽貨物運送事業を開始
平成6年 1月	家電製品の配送開始
平成7年12月	法人設立
平成8年10月	エアコン・アンテナ工事開始
平成11年5月	一般貨物運送事業許可取得
平成11年6月	家具の配送開始
平成16年6月	株式会社福商運輸に社名・役員変更
平成19年7月	通信販売の家電製品配送開始
平成22年7月	太陽光発電システム施工店登録
平成23年2月	新社屋移転、増床
平成23年2月	株式会社福商に社名変更

事業の規模

	単位	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度
		06年4月～ 07年3月	07年4月～ 08年3月	08年4月～ 09年3月	09年4月～ 10年3月	10年4月～ 11年3月
売上高	百万円	180	220	270	270	270
従業員数	人	30	33	33	33	35
床面積	m ²	500	500	500	500	500
車輜数	台	19	22	22	22	23

1-2. 経営理念・経営ビジョン

(経営理念)

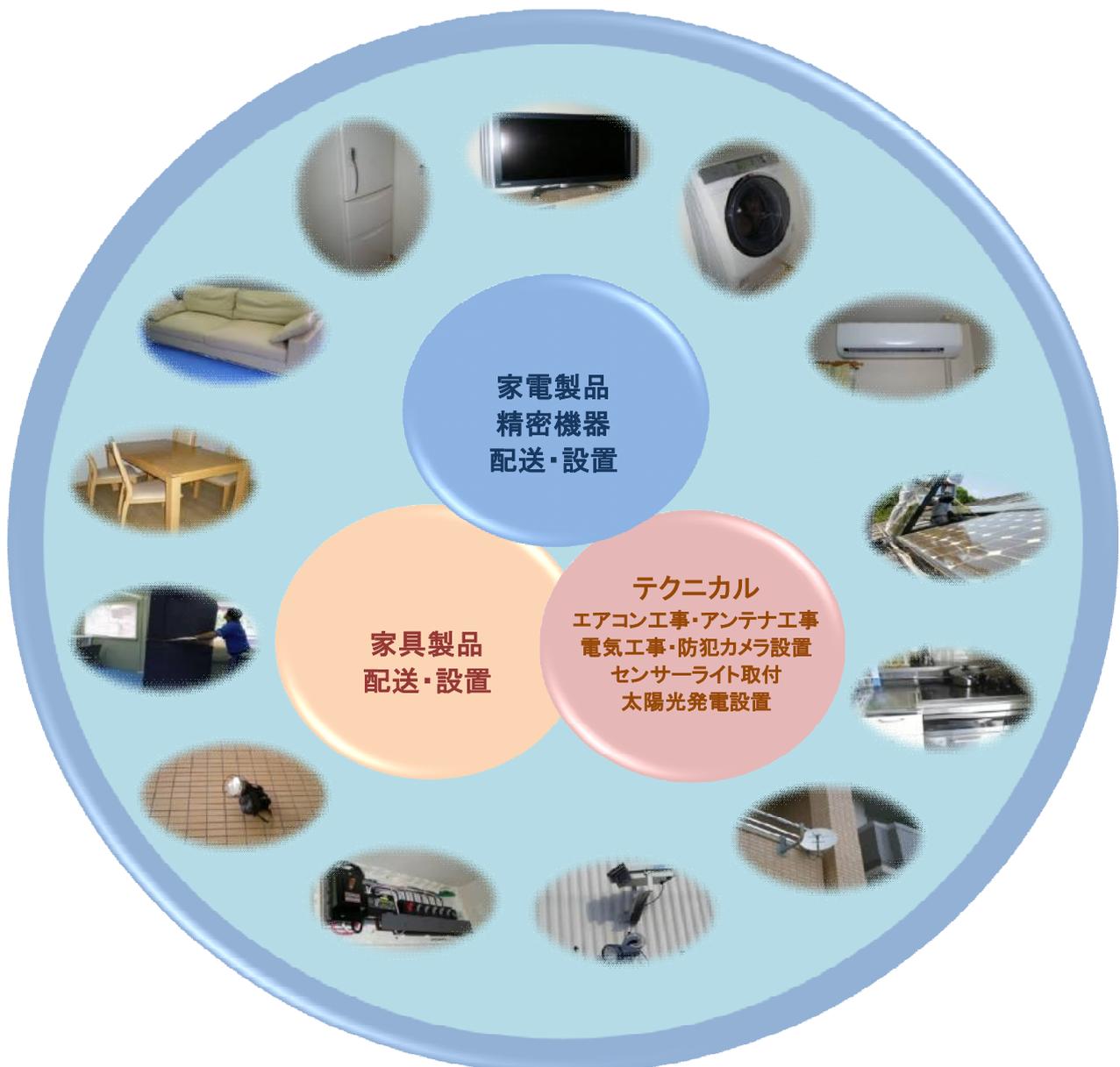
- ①人・地域・地球とのコミュニケーションを大切に、必要とされ愛される事業発展を行います。
- ②宅配サービスを提供することで「笑顔のある豊かな社会」実現に貢献します。

(経営ビジョン)

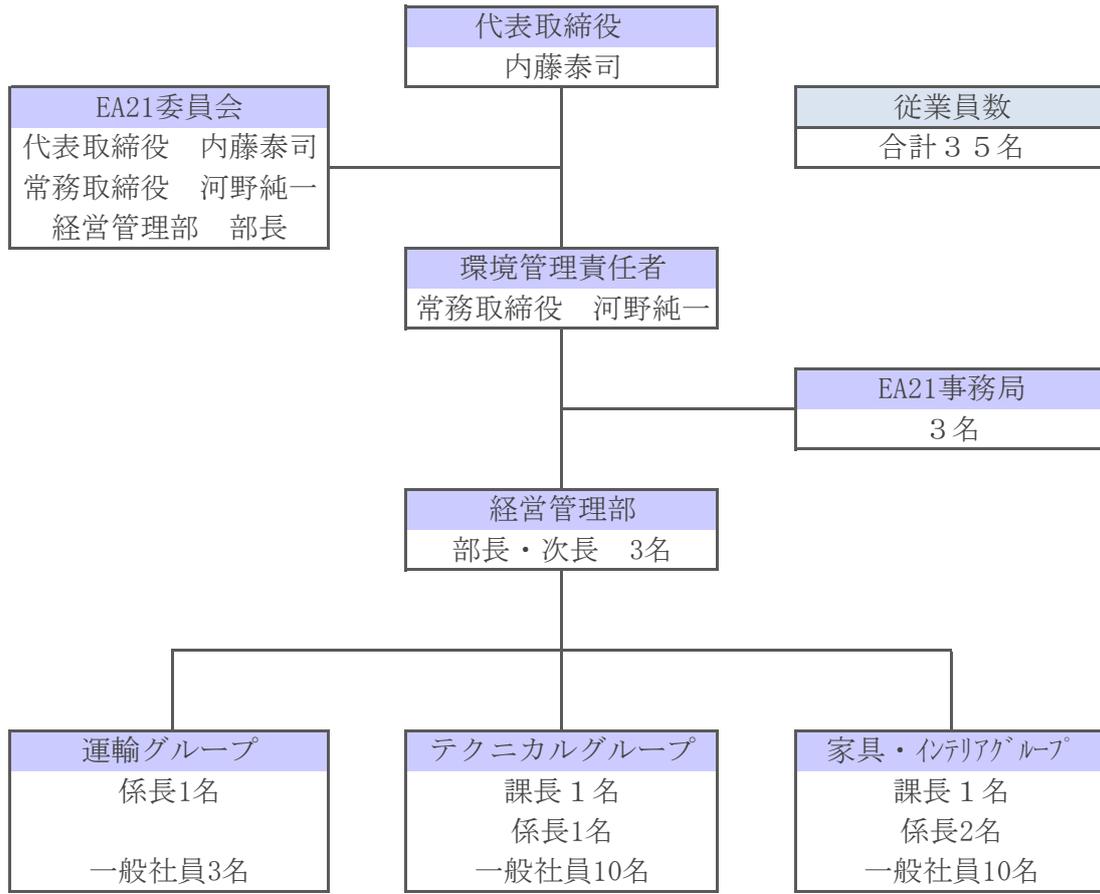
- ①宅配サービス(配送・設置・工事)での品質No1を目指します。
- ②お客様・従業員・家族・取引先・関係業界・地域社会に広く認知され信頼・尊敬される会社組織づくりを目指します。

1-3. 事業領域

CS研修
安全研修
技術研修
資格取得研修



1-4. 組織図・エコアクション運営体制



役割分担表

所属	役割・責任・権限
代表取締役	全体統括・環境方針の設定・環境への取組を実施するための資源の準備、全体の評価と見直し
常務取締役	全体の把握/環境管理責任者、環境経営システムを構築し、運用し、その状況を社長に報告する
EA21委員会	1回/3ヶ月開催し、環境目標の達成状況及び活動計画の実行状況を審議する
EA21事務局	EA21文書及び記録の作成、維持、管理
運輸グループ	グループリーダー 電気・水道使用量の削減・数値管理
テクニカルグループ	グループリーダー 廃棄物排出量、分別適正処理の管理
家具・インテリアグループ	グループリーダー 燃料費数値管理、エコドライブの推進

E A 21認証登録範囲は前組織・全事業所活動です。



エコアクション21

認証・登録番号0001859

2. これまでの環境活動

2006年05月	環境活動開始、EA21事務局設置。二酸化炭素、廃棄物排出量、総排水量の削減活動、取り組みを開始	
2006年12月	福岡県主催、エコファミリーに従業員が自主参加	
2007年02月	福岡県エコ事業所登録	
2007年09月	エコアクション21認証・登録	
2009年03月	福岡県エコ事業所更新・登録	
2009年04月	中小企業家同友会全国協議会 同友エコエントリー	
2009年09月	エコアクション21更新・登録	
2009年11月	安全運転・エコドライブ管理支援システム、ドライブレコーダー導入	
2009年12月	福岡県及び福岡県地球温暖化防止活動推進センター開催のふくおか減Co2自慢2009大会で「減Co2（げんこつ）ドライブ賞」を受賞	
2010年01月	ナスバネット（インターネット適正診断システム）導入	
2010年4月	福岡県エコ事業所、参加企業1,400社の中から「その他地球にやさしい部門」で優秀事業所として福岡県、麻生渡県知事より表彰	
2010年07月	中小企業家同友会全国協議会、環境活動とCo2削減の取り組みで「社員と共に」を受賞	
2010年11月	NPO法人九州環境カウンセラー協会主催、環境省九州地方事務所後援、エコアクション21環境活動レポート大賞・九州で「エネルギー部門賞」を受賞	
2010年12月	福岡県及び福岡県地球温暖化防止活動推進センター開催のふくおか減CO2自慢2010大会で「銅賞」を受賞	
2011年02月	「ふくしょうの森づくり」活動を実施。北九州市八幡東区河内貯水池の放置竹林伐採跡地に福岡県農林水産部・八幡森林事務所・北九州里山トラスト会の協力指導のもと従業員及び家族約30名でクヌギ600本を植樹。（別紙報告書参照）	
2011年03月	福岡県主催「事業所における省エネルギー講習」で事例報告	

環境理念

株式会社福商運輸は、事業活動を行なうにあたり、事業活動と地球環境保護の調和を目指し、持続的発展の可能な社会づくりに貢献します。

未来にわたる生活の場「地球」を守り、次世代につなぐ為に、当社の事業活動が与える環境負荷を考え、環境マネジメントシステムを構築・運用・改善を行います。

環境方針

当社の事業活動に関わる環境関連法規の順守、及び社会的要求事項を進取し地域社会との協調連帯を図ります。

2. 環境方針達成の為、環境目標・環境活動計画を設定し、全社一体となった環境保全活動の推進に努めます。
3. 環境方針を全従業員をはじめ関係者が理解し行動できるように環境教育・啓発を行い、周知いたします。
4. 環境負荷の低減
 - ① エコドライブ・節水活動による省エネ、省資源化を推進し、資源の保全に努めます。
 - ② 総エネルギー投入量(化石燃料・電力)を可能な限り低減し、二酸化炭素排出量の削減に努めます。
 - ③ 廃棄物排出量の削減、及び分別適正処理を行います。
 - ④ 排出二酸化炭素吸収のために植樹活動を実施します。
5. 循環型社会形成の推進
 - ① 4R(リデュース・リユース・リサイクル・リペア)の推進。
 - ② 環境物品(環境負荷低減に資する製品・サービス・部材)の率先購入。
6. 環境活動レポートを社内外に公表する等、地域社会の一員として社会貢献活動を積極的に推進します。

2006年11月1日(策定)
2009年4月1日(一部改定)
2010年5月1日(一部改定)
2011年5月1日(一部追加)

株式会社福商運輸
代表取締役 内藤泰司



4. 環境目標

電気使用に伴うco2排出係数は平成12年全国平均0.378kg-co2にて換算

環境目標	原単位	2005年 基準年度 (05年4月 ～06年3月)	2009年度 (09年4月～ 10年3月)	2010年度 (10年4月～ 11年3月)	2011年度 (11年4月～ 12年3月)
①二酸化炭素排出量の削減	車両1台当り (Kg-CO2)	20,499	18,449以下 (-10%)	18,244以下 (-11%)	18,039以下 (-12%)
②廃棄物排出量の削減	売上高 百万円当り (kg)	11.9	11.5以下 (-3%)	11.3以下 (-5%)	11.1以下 (-6%)
③総排水量の削減	車両1台当り (m ³)	6.6	6.4以下 (-3%)	6.3以下 (-5%)	6.2以下 (-6%)
④グリーン購入 (環境物品の購入)	購入品目数	-	-	40品目以上	50品目以上
⑤自らが販売・提供するサービスでの環境負荷低減	活動項目	-	-	100物件以上	150物件以上

※④グリーン購入と、⑤自らが販売・提供するサービスでの環境負荷低減の2009年度は暫定目標です。

5. 2010年度活動計画

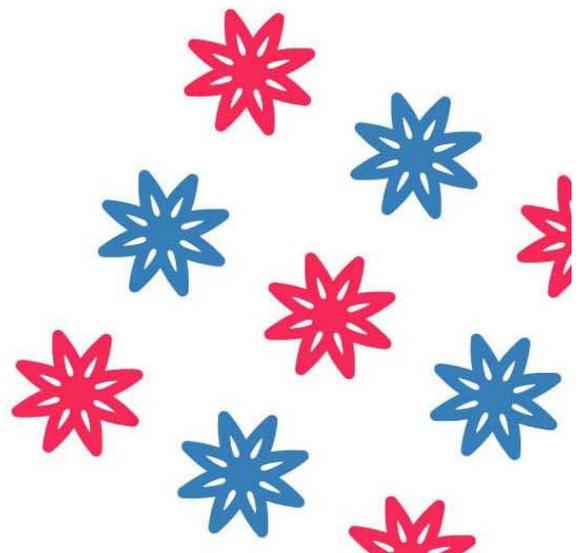
5-1. 主な環境活動

取組目標		活動項目	備考
①二酸化炭素の削減	電気使用量の削減	部屋を最後に退出する人が照明スイッチを切る	スイッチ類に啓発表示
		部屋を最後に退出する人がエアコン電源を切る	
		空調機器の定期保守点検の実施	年1回実施
	灯油使用量の削減	エアコン設定温度を決め、実行する	設定温度目安の表示と温度計設置
		温風ヒーター設定温度を決め、実行する 省エネエアコンに切り替え	機器導入
	軽油使用量の削減	アトリングストップによる省エネ運転	エコドライブ教育・ドライブレコーダー・啓発表示
急発進、急ブレーキの撲滅による省エネ運転 輸送効率アップによる燃料費削減		業務改善	
②廃棄物の削減排出	梱包資材のリサイクル	ダンボールの再資源化	分別表示・流通確認
		木くずの単純焼却から再資源化	分別表示・流通確認
		発泡スチロールの再資源化	分別表示・流通確認
	金属くずの削減	冷媒配管、電線、ケーブル類の使用計画の見直し	残材の再資源化
分別適正処理の徹底		整理整頓・分別表示	
③排水量の削減	水節減の励行を実施	蛇口を開いたまま作業をしない	啓発表示
		使用后、蛇口が閉まっているか確認をする	
		ホースの先のシャワー・蛇口での節水	部品取付
		排水設備の点検	年1回実施
④グリーン購入	グリーン購入法・環境負荷低減商品の率先購入	事務用品購入品の見直し	購入品目の洗い出し
		グリーン購入法適合商品の購入	購入数の85%以上
		環境ラベル認定商品の購入	
		再生材の購入(古紙パルプ配合率100%)	
	低燃費車の購入(環境ラベル4つ★以上)	保有車両の5%以上	

取組目標		活動項目	備考
⑤ 自らが販売・提供するサービ スでの環境負荷低減	環境配慮型機器機器の販 売・配送・工事の普及	太陽光発電関連の販売・工事	省エネ・創エネに関する 業務の推進
		省エネルギー型エアコンの工事	
		LED照明の販売及び工事	
		配送効率の向上	一台当りの適正件数の管理
	リデュース・リペア の実施	電財の再資源化	配管・電線の再資源化
		工具類の修理・使用継続	管理者によるチェック
		物流機器の修理・使用継続	管理者によるチェック
		再使用可能な梱包資材の使用	管理者によるチェック
	環境配慮の取組	クールビズの実施	実施期間6/1～9/31
		ウォームビズの実施	実施期間11/1～3/31
		マイバック(買い物袋持参)	各家庭で実施

5-2. 環境教育・地域社会貢献

取組目標	活動項目	備考
環境教育・地域社会貢献	福岡県エコ事業所の登録(1～6・7～12報告)	事業所単位
	福岡県エコファミリーの参加	従業員及びその家族単位
	定期診断と安全・エコドライブ教育・指導	年1回開催
	年1回のエコドライブ講習会	年1回開催
	地域清掃(毎週月曜日)	2010年8月25日開始
	「ふくしょうの森」づくり	2011年1月17日実施予定



6. 環境目標とその実績及び評価

6-1. 環境目標とその実績

環境目標	原単位		2005年 基準年度 (05年4月 ～06年3月)	2010年度実績 (10年4月～ 11年3月)	評価
①二酸化炭素排出量の削減	車両1台当り (Kg-CO2)	目標	20,183	17.962以下 (-11%)	◎
		実績		12.346	
		削減率		-38%	
		総排出量	343,113	283,960	
②廃棄物排出量の削減	売上高 百万円当り (kg)	目標	11.9	11.3以下 (-5%)	×
		実績		22.4	
		削減率		83%	
		総排出量	2,000	6,070	
③総排水量の削減	車両1台当り (m ³)	目標	6.6	6.3以下 (-5%)	×
		実績		7.5	
		削減率		13%	
		総排水量	113	172	
④グリーン購入 (環境物品の購入)	購入品目数	目標	-	40品目以上	○
		実績		45品目	
⑤自らが販売・提供する サービスでの環境負荷低減	販売物件数	目標	-	100物件以上	◎
		実績		1,251	

評価=◎よるできている ○ある程度できている ×できていない

※二酸化炭素の基準年度及び目標数値は九州電力の21年度係数0.374にて換算、修正。

6-2. 実績の評価

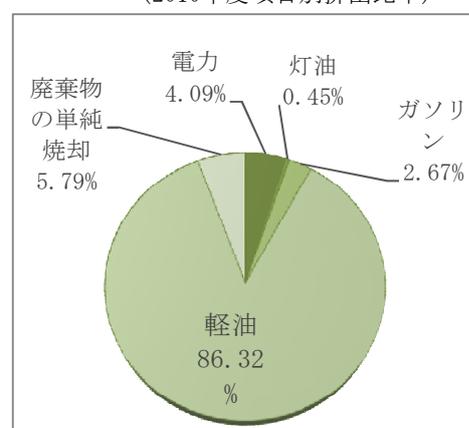
①二酸化炭素削減=評価◎

二酸化炭素削減目標、2005年の基準年度対比で車輦1台当り17.962kg-co2以下(-11%)に対し今期実績は車輦1台当り12.346kg-co2(-38%)となり目標を達成できました。最大の要因は、弊社が主に配送車輦を用いて商品をお客様宅にお届けする業務のため、2005年度から行った配送車輦の業務効率の見直し、エコドライブの推進等で、二酸化炭素排出量の86.3%を占める軽油使用量の削減効果がでたためです。売上増加にともない事務所人員も増え、電気使用量やファンヒーターの灯油使用量が増加しているのは、反省点でもあり今後の課題と考えます。また環境活動を開始して5年が経過しましたが、今後も引き続きこの削減数値を維持していきたいと考えます。

(項目別の排出量と比率)

	2005年度 (05年4月～06年3月)	2010年度		
		(10年4月～11年3月)	全体比率	2005年対比
購入電力	5,319.2	13,666.7	4.82%	256.93%
灯油	1,166.2	1,275.8	0.45%	109.40%
LPガス	0.0	0.0	0.00%	0.00%
ガソリン	5,950.4	7,810.0	2.75%	131.25%
軽油	325,373.5	244,982.0	86.32%	75.29%
廃棄物の単純焼却	5,360.0	16,080.0	5.67%	300.00%
合計	343,169.3	283,814.5	100.00%	

(2010年度項目別排出比率)



②廃棄物排出量削減=評価×

環境目標である売上100万円当りの廃棄物排出量11.9kgに対し実績22.4kgで目標を未達成でした。2005年(基準年度)と比較してダンボール及び発泡スチロールのリサイクル率は高まり、今期ではほぼリサイクルできていますが、取扱商品の増加により選別残渣が増え単純焼却物が増えたものです。2011年2月に新社屋に移転をしたため、増床を機に、ごみ置き場の新設、分別の細分化や啓発表示の見直しなどを行い、新たな目標を掲げ、改善をはかっていきます。

③総排水量削減=評価×

環境目標1台当りの水使用量6.6m³に対し、7.5m³という結果で目標未達成に終わりました。これは基準年度当初あった社外の洗車箇所(スタンド等)の使用を取りやめ、社内設備1カ所にしたことが考えられます。また、洗車の回数や方法などのルールが徹底されておらず、周知・改善をはかりません。洗車設備も新たに整ったため、現状に伴った目標設定見直しもあわせて行っていきます。

④グリーン購入=評価○

事務備品、制服、事務機など45品目以上で環境物品(グリーンラベル)の購入ができており目標達成でした。来期はさらに10品目以上を追加購入していきます。

⑤自らが販売・提供するサービスでの環境負荷低減=評価◎

社会的環境意識の高まりもあり、省エネ型エアコンの普及、企業の工場や事務所の照明をLED照明への入替工事、太陽光発電工事などの受注が増え1,250件以上の環境負荷低減に資する工事及び販売ができました。今後も市場拡大が期待できさらに販売強化していきたいと思っております。

6-4. 2011年度以降の新環境目標

「エコアクション21・ステップアップ2012」（3カ年目標）

環境目標	原単位	基準年度 /実績	2011年度 (011年4月～ 12年3月)	2012年度 (12年4月～ 13年3月)	2013年度 (13年4月～ 14年3月)
①二酸化炭素排出量の削減	車両1台当り (Kg-CO2)	2006年度	14.456以下	14.290以下	14.124以下
		(06年4月 ～07年3月)			
		16.617	(-13%)	(-14%)	(-15%)
②廃棄物排出量の削減	売上高 百万円当り (kg)	2009年度	27.10以下	27.10以下	27.10以下
		(09年4月 ～10年3月)			
		28.00	(-3%)	(-3%)	(-3%)
③総排水量の削減	車両1台当り (m ³)	2010年度	0.58以下	0.58以下	0.58以下
		(10年4月 ～11年3月)			
		0.60	(-3%)	(-3%)	(-3%)
④グリーン購入 (環境物品の購入)	購入品目数	-	40品目以上	50品目以上	60品目以上
⑤自らが販売・提供する サービスでの環境負荷低減	販売商品の 物件数	-	100物件以上	120物件以上	150物件以上

※二酸化炭素の基準年度及び目標数値は九州電力の21年度係数0.374にて換算、修正。

環境目標の基準年度変更理由

※2010年全体評価と見直しの結果により、2011年度から基準年度を以下に変更します。

環境目標	旧：基準年度	新：基準年度	変更理由
①二酸化炭素排出量	2005年度	2006年度	取組1年後で数値が安定しているため
②廃棄物排出量の削減	2005年度	2009年度	業務内容が変わったため
③総排水量の削減	2005年度	2009年度	社屋移転、増床、設備拡大のため

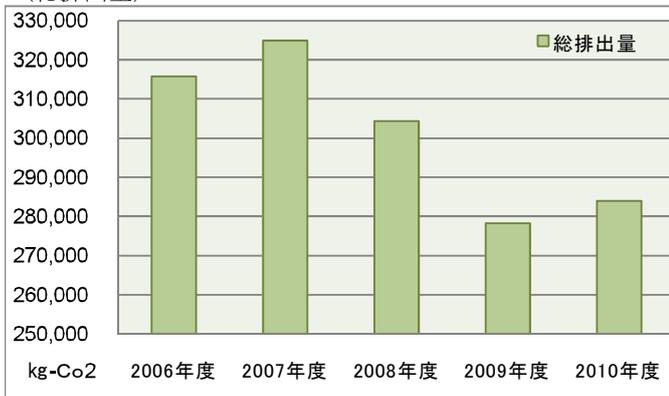
※総排水量の新基準2009年度度は暫定的で、2012年度より社屋移転後の2010年度に変更します。

6-4. 過去5年間の実績及び推移（2006年～2010年度）（総量・原単位・平均）

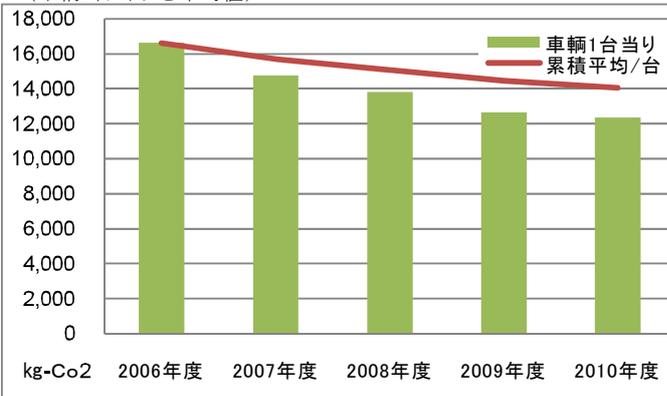
①二酸化炭素排出量

		2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度
		(06年4月～07年3月)	(07年4月～08年3月)	(08年4月～09年3月)	(09年4月～10年3月)	(10年4月～11年3月)
①二酸化炭素 (kg-CO ₂)	総排出量	315,730.0	324,965.0	304,367.0	278,201.0	283,960.0
	車両1台当り	16,617	14,771	13,835	12,646	12,346
	累積平均/台	16,617	15,694	15,074	14,467	14,043

(総排出量)



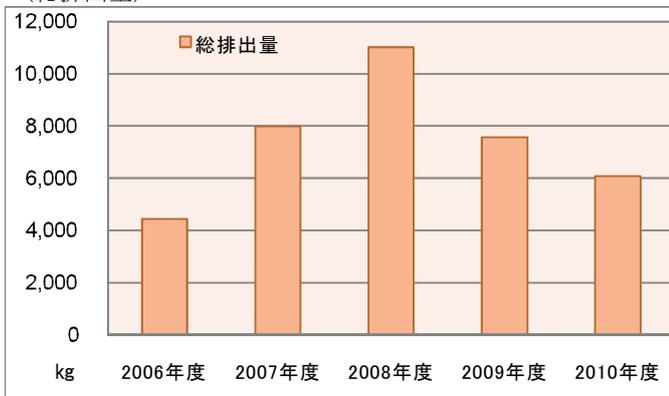
(車両1台当りと平均値)



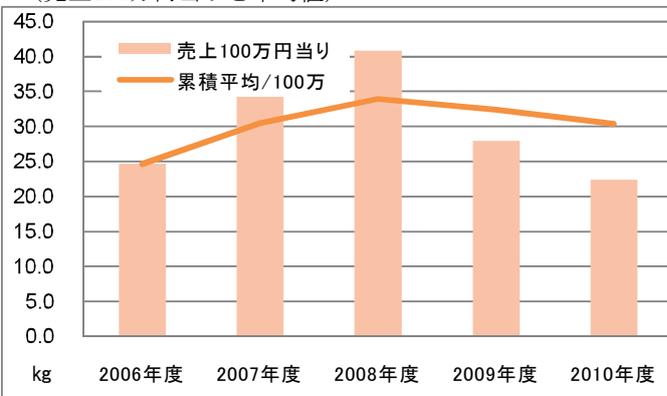
②廃棄物排出量

		2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度
②廃棄物排出量 (kg)	総排出量	4,440	7,980	11,020	7,560	6,070
	売上100万円当り	24.7	36.3	40.8	28.0	22.4
	累積平均/100万	24.6	30.5	33.9	32.4	30.4

(総排出量)



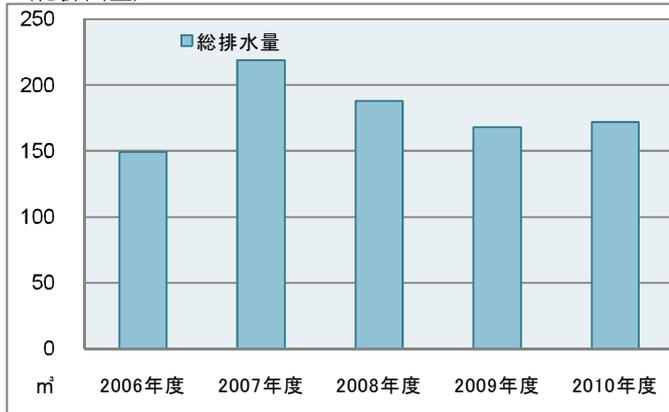
(売上100万円当りと平均値)



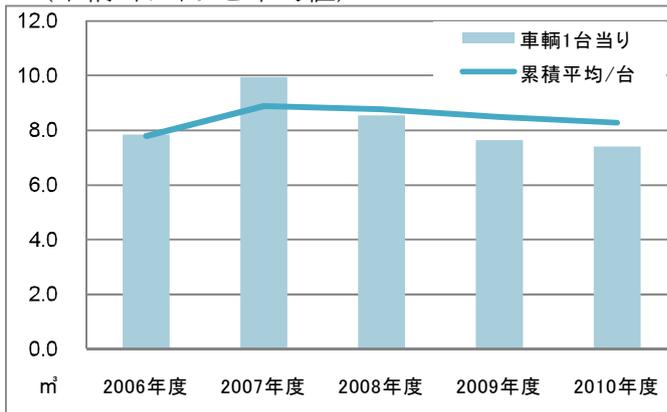
③排水量

		2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度
③排水量 (m ³)	総排水量	149	219	188	168	172
	車両1台当り	7.8	10.0	8.5	7.6	7.4
	累積平均/台	7.8	8.9	8.8	8.5	8.3

(総排出量)



(車両1台当りと平均値)



7. 2010年度活動計画の取組結果と評価

7-1. 主な環境活動の取組結果と評価

①二酸化炭素の削減		第一期			第二期			第三期			第四期		
取組目標	活動項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
電気使用量の削減	部屋を最後に退出する人が照明スイッチを切る	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	部屋を最後に退出する人がエアコン電源を切る	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	空調機器の定期保守点検の実施		○						○				
	エアコン設定温度を決め、実行する	○	○	○	△	△	○	○	○	○	○	○	○
灯油使用量の削減	温風ヒーター設定温度を決め、実行する									△	△	△	△
	省エネエアコンに切り替え			○									
ガソリン・軽油使用量の削減	アイドリングストップによる省エネ運転	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△
	急発進、急ブレーキの撲滅による省エネ運転	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	輸送効率アップによる燃料費削減	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
評価		輸送効率が改善されている			積極的に節電に取り組んでいる			空調機の点検が実施された			灯油の使用削減が必要		

②廃棄物排出量の削減		第一期			第二期			第三期			第四期		
取組目標	活動項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
梱包資材の再資源化	ダンボールの再資源化	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	木くずの単純焼却から再資源化	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	発泡スチロールの再資源化	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
金属くずの削減	冷媒配管、電線、ケーブル類の使用計画の見直し	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	分別適正処理の徹底	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
リペアの推進	工具類の修理・使用継続	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	物流機器の修理・使用継続	△	△	△	△	△	△	×	×	×	△	△	△
評価		段ボールのリサイクルが実施されている			発泡スチロールのリサイクルが実施されている			物流機器の点検がされていない			電線の購入計画が見直されている		

判定：○できている △：ある程度できている ×：できていない

③排水量の削減		第一期			第二期			第三期			第四期		
取組目標	活動項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
水節減の励行を実施	蛇口を開いたまま作業をしない	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○
	使用后、蛇口が閉まっているか確認をする	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	ホースの先のシャワー・蛇口での節水	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×
評価		節水活動が実施されている			洗車時に蛇口が空いたままになっている			蛇口の締め忘れはない			ホースの先にシャワーがついていない		

④グリーン購入		第一期			第二期			第三期			第四期		
取組目標	活動項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
グリーン購入・環境負荷低減商品の の率先購入	事務用品の見直し					○							
	グリーン購入法適合商品の購入					○	○	○	○	○	○	○	○
	環境ラベル認定商品の購入					○	○	○	○	○	○	○	○
	再生材の購入（古紙パルプ配合率100%）					○	○	○	○	○	○	○	○
評価					環境物品の洗い出しができています			環境物品購入が率先して行われている			環境物品購入が率先して行われている		

⑤自らが販売・提供するサービスでの環境負荷低減		第一期			第二期			第三期			第四期		
取組目標	活動項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
環境配慮型機器の販売・配送・工 事の普及	太陽光発電関連の販売・工事	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×
	省エネルギー型エアコンの工事			○	○	○			○				
	LED照明の販売及び工事								○	○	○	○	
評価		太陽光関連の販売量が少ない			省エネ型エアコン工事が増えている			LED照明工事が増えている			LED照明工事が増えている		

判定：○できている △：ある程度できている ×：できていない

7-2. 環境教育・地域社会貢献

⑥環境教育・環境推進活動

取組目標	活動項目	第一期			第二期			第三期			第四期		
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
環境教育	福岡県エコ事業所の登録		○										
	福岡県エコファミリーの参加			○						○			
	年1回の定期診断と安全・エコドライブ教育・指導							○					○
	年0回のエコドライブ講習会									○			
	年1回のエコドライブ講習会											○	
	「ふくしょうの森」づくり											○	
活動推進	クールビズの実施				○	○	○						
	ウォームビズの実施								○	○	○	○	○
	マイバック(買い物袋持参)	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
評価		福岡県エコファミリーに参加出来ている			クールビズが実施されている			ウォームビズが実施されている			植樹活動が実施されている		

判定：○できている △：ある程度できている ×：できていない

7-3. 取組の紹介

7-3-1. エコドライブ10のすすめ

①ふんわりアクセル「eスタート」

普通の発進より少し緩やかに発進する（最初の5秒で約20キロが目安）だけで11%程度燃費が改善します。やさしいアクセル操作は安全運転にもつながります。時間に余裕を持って、ゆったりした気分運転をしましょう。

②加減速の少ない運転

車間距離に余裕を持つことが大切です。車間距離を詰めたり、速度にムラのある走り方をすると、加減速の機会も多くなり、その分市街地であれば、高めのギアで走行する方が燃費が良くなります。交通状況に応じ、できるだけ速度変化の少ない安全運転をしましょう。

③早めのアクセルオフ

エンジブレキを使うと、燃料の供給が停止されるので、2%程度燃費が改善されます。停止位置が分かったら、早めにアクセルから足を離して、エンジブレキで減速しましょう。また減速したり、坂道を下るときにはエンジブレキを活用しましょう。

④エアコンの使用を控える

気象条件に応じて、こまめに湿度・風量の調整を行いましょう。特に夏場に設定温度を下げすぎないことがポイントです。

⑤アイドリングストップ

待ち合わせや荷物の積み下ろしのための駐停車の際にはアイドリングを止めましょう。

⑥暖機運転は適切に

現在販売されているガソリン乗用車においては暖機運転は不要です。寒冷地などの特別な状況を除き、走りながら暖機するウォーアップ走行で十分です。

⑦道路交通情報の活用

地図やカーナビ等を利用して、行先及び走行ルートをあらかじめ計画・準備をしましょう。また道路交通情報をチェックして渋滞を避ければ燃料と時間の節約になります。カーナビやラジオ等で道路交通情報をチェックして活用しましょう。

⑧タイヤの空気圧はこまめにチェック

タイヤの空気圧が適正値より50kPa (0.5kg/m²) 不足した場合、市街地で2%程度、郊外で4%程度、それぞれ燃費が悪化します。また、安全運転のためにも定期的な点検は必要です。

⑨不要な荷物は積まずに走行

100kgの不要な荷物を載せて走ると、3%程度燃費が悪化します。車の燃費は荷物の重さに敏感です。運ぶ必要のない荷物は、車から降ろしましょう。

⑩駐車場所に注意

交通の妨げになる場所での駐車は交通渋滞をもたらす余分な排出ガスを出させる原因となります。

(エコドライブ普及連絡会作成資料引用)

7-3-2. 教育・訓練

ナスバネット（インターネット適正診断システム）を利用した一般診断（定期診断）及び安全運転訓練を年1回開催

[2] 運転傾向についての診断結果

安全エコ運転度

先急ぎ運転度

予防安全運転度

思いやり運転度

判断・動作のタイミング

動作の正確さ

注意の配分

7-3-3. エコドライブ講習会

エコドライブ指導員マニュアルをもとに、エコドライブについての考え方と実施要領を説明。



7-3-4. ドライブレコーダーを用いて安全運転・エコドライブの指導



GPS記録装置を配送車両に車載をして、さまざまなデータを蓄積しています。そのデータを基に本社パソコンにて急発進・急ブレーキ、危険運転や傾向分析、事故多発箇所の分析を行っています。また分析結果を乗務員に対し安全運転・エコドライブの指導・教育を行い車両1台当りの燃費向上に役立てています。

(教育・指導用帳票類)

(危険運転指導書)

(危険度ランキング)

(エコ・安全運転ランキング)



(安全運転指導書)



(エコ・安全運転指導書)



(傾向分析)



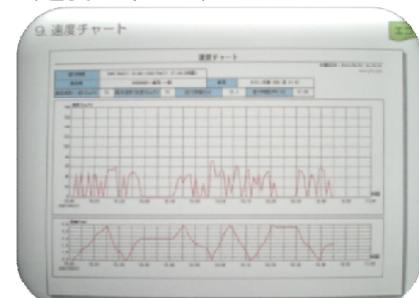
(事故多発エリア)



(車両トレース)



(速度チャート)



7-3-5. 掲示物、地域清掃、環境物品購入



(地域清掃)



(節水活動)



(省エネ活動)



(車輛使用のルール)



(環境物品の購入)



(再使用可能な梱包資材)



7-3-6. その他、分別処理

◎環境配慮型自販機へ入替
/年間613kg-co2削減



◎事業系一般廃棄物の管理担
当者を選任、事務所内にの分
別・処理手順を啓示



◎リサイクル担当者を選任、
倉庫内に分別・処理手順を啓
示

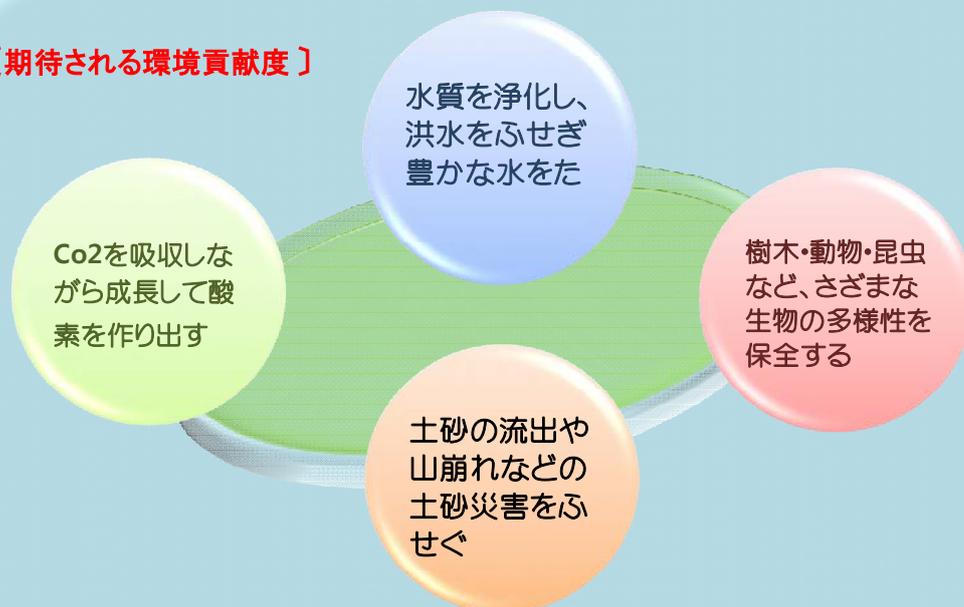


7-4. 2010年度「ふくしょうの森づくり」活動報告

株式会社福商運輸では環境活動として様々な取り組みを行い二酸化炭素排出削減に努めてまいりました。2010年度ではさらに環境貢献・地域、社会貢献の一環として福岡県と北九州市森林組合のご協力・指導のもと「ふくしょうの森づくり」活動を実施しました。

植 樹 日	2011年2月20日(日)
場 所	福岡県北九州市八幡東区河内
参 加 人 数	従業員と家族30名+北九州森林組合
広 さ	0.5ヘクタール
樹 種	クヌギ
本 数	600本

【期待される環境貢献度】



(植樹予定地)



(河内貯水池)



- 二酸化炭素を吸収する 1000kg-Co₂/年 【2人分の年間排出量】
- 土砂の流出を防ぐ 25m³ 【10tダンプ5台分(積載量5.5m³)】
- 水質を浄化する 4.118m³ 【プール16個分(25m×10m×1m)】
- 水資源をたくわえる 4.118m³ 【プール16個分(25m×10m×1m)】
- 洪水をふせぐ 0.02m³/秒

(社団法人全国林業改良普及協会「森づくり活動チェック」にて算出)

7-5. 2011年度活動計画

※2011年度では、環境方針に「環境物品に配慮した商品の普及に努めます」を追加して活動していきます。

7-5-1. 主な環境活動

取組目標		活動項目	備考	実施期間																
				2011年												2012年				
				4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月					
① 二酸化炭素の削減	電気使用量の削減	部屋を最後に退出する人が照明スイッチを切る	スイッチ類に啓発表示	←												●	→			
		部屋を最後に退出する人がエアコン電源を切る		←												●	→			
		空調機器の定期保守点検の実施	年1回実施																	
	灯油使用量の削減	エアコン設定温度を決め、実行する	設定温度目安の表示と温度計設置	←						→						●				
		温風ヒーター設定温度を決め、実行する															→			
		省エネエアコンに切り替え	機器導入							●							●			
	ガソリン・軽油使用量の削減	アイドリングストップによる省エネ運転	エコドライブ教育・ドライブレコーダー・啓発表示	←												→				
急発進、急ブレーキの撲滅による省エネ運転		←												→						
輸送効率アップによる燃料費削減		業務改善													●					
② 量の廃棄物削減排出	梱包資材のリサイクル	ダンボールの再資源化	分別表示・流通確認	←												→				
		木くずの単純焼却から再資源化	分別表示・流通確認	←												→				
		発泡スチロールの再資源化	分別表示・流通確認	←												→				
	金属くずの削減	冷媒配管、電線、ケーブル類の使用計画の見直し	残材の再資源化													●				
		分別適正処理の徹底	整理整頓・分別表示	←						●	→									
③ 排水量削減	水節減の励行を実施	蛇口を開いたまま作業をしない	啓発表示	←												●	→			
		使用后、蛇口が閉まっているか確認をする		←												●	→			
		ホースの先にシャワー、蛇口の取付	定期点検							●							●			
		排水設備の点検														●				
④ グリーン購入	グリーン購入法・環境負荷低減商品の率先購入	事務用品購入品の見直し	購入品目の洗い出し													●				
		グリーン購入法適合商品の購入	50品目以上	←												→				
		環境ラベル認定商品の購入		←												→				
		再生材の購入（古紙パルプ配合率100%）		←												→				
		低燃費車の購入（環境ラベル4つ★以上）	5%以上														●			

← 実施期間 ● 実行日 ● 定期検査

取組目標	活動項目	備考	2011年												2012年			
			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月				
⑤ 自らが販売・提供低減するサービス	環境配慮型機器機器の販売・配送・工事の普及	太陽光発電関連の販売・工事	←															
		省エネルギー型エアコンの工事				←												
		LED照明の販売及び工事	←															
		配送効率の向上	←															
	リデュース、リペアの実施	電財の再資源化	配管・電線の再資源化	←														
		工具類の修理・使用継続	管理者によるチェック		●													
		物流機器の修理・使用継続	管理者によるチェック								●							
		再使用可能な梱包資材の使用	管理者によるチェック	←														
	環境配慮の取組	クールビズの実施	実施期間6/1～9/31			←												
		ウォームビズの実施	実施期間11/1～3/31										←					
マイバック(買い物袋持参)		各家庭で実施	←															

7-5-2. 地域貢献

取組目標	活動項目	チェック担当者	実施担当者	2011年												2012年		
				4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3			
地域清掃	会社半径100mの清掃活動(毎週月曜日)			←														
ふくしょうの森づくり	植樹地の下刈り																●	

7-5-3. 環境教育・その他環境負荷低減活動

取組目標	活動項目	チェック担当者	実施担当者	2011年												2012年		
				4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3			
環境教育・その他環境負荷低減活動	福岡県エコ事業所の登録(1～6・7～12報告)			●	←													
	福岡県エコファミリーの参加			←				●								●		
	年1回の定期診断と安全・エコドライブ教育・指導									●								
	年1回のエコドライブ講習会										●							
	フロンガスの適正管理					←												
	下請け協力業者さんへの教育(マニュアル配布)					●											●	
	産業廃棄物の取扱研修												●					
	太陽光発電システム設置研修													●				

8. 環境関連法規等の順守状況の確認及び評価の結果並びに違反・訴訟の有無

8-1. 環境関連法規等の順守状況の確認及び評価の結果

社内でのチェックリストを基に許可証・契約書・管理票・マニュアル・記録データ・その他帳票類等を点検、順守状況を確認したところ廃棄物処理法、消防法、貨物自動車運送事業法、大気汚染防止法等21項目の環境関連法規いずれも適合でした。また、リサイクル品の取り扱いもマニュアルに沿って適正に行われていました。

関係する法規	判定
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	適合
特定家庭用機器再商品化法	適合
大気汚染防止法	適合
消防法	適合
騒音規制法	適合
水質汚濁法	適合
道路運送車両法	適合
貨物自動車運送事業法	適合
自動車から排出される窒素酸化物及び粒子状物質の特定地域における総量の削減等に関する特別措置法	適合
特定製品に係るフロン類の回収及び破壊の実施の確保等に関する法律	適合

8-2. 環境関連法規等の違反・訴訟の有無

自主的に調査・点検した結果、過去5年間違反・訴訟等はありません。

又、今後も環境関連法規と社会的要求事項を進取し適時改善を行い更なる環境保全活動の制度の向上を図ってまいります。

9. 代表者による全体評価と見直しの結果

今期の二酸化炭素削減は売上増加、事務所人員の増員に伴い使用電力、灯油使用量は増加しているものの大半を占める軽油使用量の削減効果で1台当りの排出量で目標をクリアでき、さらに排出総量でも大幅な削減ができました。廃棄物排出量、水使用量の削減は未達成に終わっているため、今期の反省点を踏まえ改善していく必要があります。特に水使用の多くは洗車によるもので、新たな洗車ルールの取り決めを行う必要があると考えます。昨年から計画していた「ふくしょうの森づくり」を実施できたことは、環境活動を通じて従業員・その家族・地主様・行政・NPO法人等さまざまな地域の方とのコミュニケーションが図れたことは社会を構成する一員として環境意識が高まったと思います。来期は2011年2月1日に新社屋に移転増床したため、新たに現状に沿った目標の設定と運用の仕組みの見直しも行い、環境目標の達成と同時に環境物品の率先購入、環境負荷低減に資する商品の販売・工事などを拡大に努めてまいります。